



株式会社コスモフーズ 代表取締役社長

北池 直氏

①

自動販売機に飲料を補充するルートオペレーションと飲料の受託製造が事業の柱だ。新型コロナウイルスの影響が先に出たのは製造工場だった。リモートワークの普及で、首都圏での商品の売上が一気に下がり、受託数が激減した。

一方、都内の自販機の売上は下がったが、地方は上がったため、バランスを取ることができた。ほっとしたのも束の間、ウクライナ戦争の影響で工場のエネルギーコストが上昇、その額は年間数千円に達する。令和2年度に「彩の国埼玉中小企業CO2削減大賞」の奨励賞を受賞した実績を踏まえ、上昇コストを吸収するための計画を、数年後まで見据えて作った。

②

同社を率いるのは2019年に就任した大阪出身の北池社長である。工場の労働時間の適正化や、オペレーターの労働時間を週単位で管理するなど、働き方改革の旗を振る。その素顔は

ないので「に共感し、「熟練に支えられたフライドと自信がある。いろいろな仮説を立て、失敗の可能性をつぶし、どんな状態に陥っても回復できるということ」と解説するところにも、

## 「QSSC+H」始まる

「仕事が趣味」と断言する猛烈な仕事人間だ。1999年に入社して以来、「人の3倍は仕事をしなきゃダメ」と小さな声で堂々と言う。医家ドラマでの米倉涼子の名セリフ「私、失敗し

北池社長の猛烈な仕事ぶりが垣間見える。実際、かつては睡眠不足でルートオペレーションに携わった。あるとき、大阪の中小企業に設置した自販機の商品ストックが心配になり、23時から

③

作業服に着替えて訪問。社長夫妻が仕事をしていたので驚いて「社長、何でこんなに遅くまで仕事をしているんですか？」と声をかけると、「お前もいるやないか」。真面目な話の最後にオチを仕掛けてくる。聞き手が笑うと会心の笑顔になり、心底からの楽しそうな笑い声が入る。人をさらに魅了する。

今年「QSSC+H」に取り組む。クオリティ、サービス、クリーン、そしてホスピタリティだ。エネルギーコストが上がっていく中で、品質を確保しながら、お客様にサービスを提供し、清潔な環境で、社会のために心を込めて取り組む企業になるための1年目が始まった。



株式会社コスモフーズ

本社

〒331-0804

さいたま市北区土呂町1-46-9

TEL048-651-4273

FAX048-651-4142